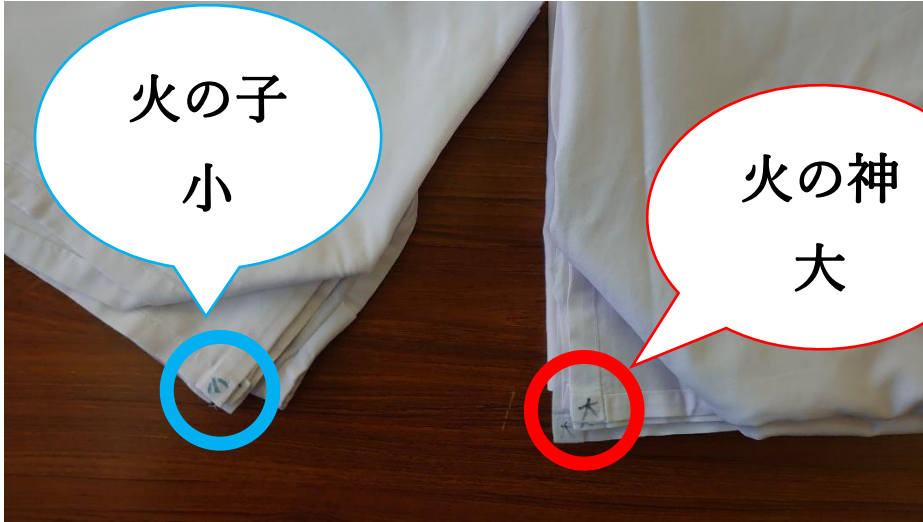


キャンプファイア

概要	仲間とともに、歌・踊り・スタンプなどに取り組み、協力や友愛の精神を高めます。			
目的	火を囲みながら、自分を見つめ直すとともに、仲間との親睦を深めることを目的とします。			
諸条件	【時期】	4～10月	【対象】	どなたでも
	【人数】	制限なし	【所要時間】	90～120分
	【費用】	一式4,370円	【会場】	キャンプファイア場（2カ所）
	【天候】	晴天のみ		
準備物	団体に準備する物 <input type="checkbox"/> ライター（マッチ） <input type="checkbox"/> 必要に応じて音楽（CD） <input type="checkbox"/> 丸太組み用軍手			
	鴨青が貸し出す物 <input type="checkbox"/> 衣装（追加衣装の貸出は無料） <input type="checkbox"/> 丸太 <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 消火用具 <input type="checkbox"/> トーチ1本（追加貸出1本300円） <input type="checkbox"/> CDデッキ付アンプ <input type="checkbox"/> コードリール			

	項目	内容	備考
入所前 (手順)	事前準備	<input type="checkbox"/> 衣装係（火の神役）や丸太組み係等の役割分担を決めます。	
当日 (手順)	実施確認	<input type="checkbox"/> チェックイン時に「体験活動注文表」を提出します。	<input type="checkbox"/> 体験活動注文表
	活動前	<input type="checkbox"/> 16:30に受付前へ活動責任者・担当研修生は集合します。 <input type="checkbox"/> 鴨青所員から道具を受け取り、説明を受けます。（丸太組み係は軍手持参）	<input type="checkbox"/> 資料1 <input type="checkbox"/> 資料2
	活動中	<input type="checkbox"/> 儀式（静）→ゲーム（動）→儀式（静） ※儀式・ゲームの内容は団体にて計画	<input type="checkbox"/> 資料3
	活動後	<input type="checkbox"/> 火の始末をします。（完全消火） <input type="checkbox"/> 貸し出し備品を事務室に返却します。 <input type="checkbox"/> 翌朝、灰の始末・消火用具の返却をします。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 火による事故（火傷） <input type="checkbox"/> 木のささくれによる事故（切り傷等）		
安全指導	<input type="checkbox"/> 火傷防止のため、火の管理（着火・消火・灯油の使用）は活動責任者が行ってください。 <input type="checkbox"/> 地震や津波等で避難を要する場合は所員の指示に従ってください。		
実施判断	<input type="checkbox"/> 実施判断は、活動責任者が行ってください。 （雨天時、キャンドルサービスに変更できます。お気軽にご相談ください。）		
その他	<input type="checkbox"/> 活动时、外灯を消したい場合は、所員にお気軽にお声掛けください。		

①



②



③



資料2 丸太の組み方・火の管理について

1. 丸太の組み方・片づけ方

(1) 丸太・木っ端の準備

丸太（10本）、焚き付け用木っ端（25本程度）を用い、丸太を井桁にセットし、木っ端は中央及び四隅に立てかけてセットします。残った焚き付け用木っ端はキャンプファイア中に火力を調節するために使用します。

※丸太をセットする際、細い木っ端を外側に置いて丸太が外側に転がらないようにします。(図②)



(2) 着火

トーチに灯油を染みこませ着火したのち、火のついたトーチを焚き付け用木っ端の下部に配置します。(図③)

着火前に丸太に灯油を染みこませてから着火します。

※灯油の管理は必ず大人が行い、周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油を使用します。なお、着火後に灯油をかけるのは危険ですので行わないでください。



(3) 火の管理・処理

必ず大人が行い、まだ丸太が燃え切っていない場合は周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油をかけ、ドラム缶の蓋に収まるサイズまで丸太を燃やしてください。(図④)

※灯油をかける際は火元との間隔をあげ、ひしゃくを使用し細心の注意を払って行ってください。

丸太がドラム缶に収まるサイズになったら蓋で覆い、ドラム缶と地面の隙間を砂（車庫脇に用意）で密閉します。(図⑤)



(4) 片付け（翌朝）

翌朝（6：30～8：00）灰をバケツに入れ、水で消火してから灰捨て用ゴミ袋に入れてゴミステーションに捨ててください。

水は、車庫横コンテナ裏に捨ててください。残った砂はバケツに入れ、元の場所へ返してください。

※営火場のレンガに直接水をかけると破損するため、絶対に行わないでください。



使用した消火用具を車庫の前に戻し、事務室へ終了の連絡をお願いします。

資料3 キャンプファイア展開例

第1部 迎火の集い

- ①集合 「中央を向いて、円を作って座ってください。」
- ②始まりの言葉 「ただいまより、キャンプファイアを始めます。」
- ③火の神・子入場 「火の神・火の子が入場します。」※曲
- ④火の神の言葉 「私は、この鴨川の地に住む火の神である。
今宵は皆のため、灯を授けに降りてきた。考えてほしい。人々は灯を自由に扱えること
によって、このように発展を遂げてきたのだ。はるか昔、人々が灯を手に入れるのにど
んなに苦労してきたのか考えたことがあるだろうか。灯の存在は、決して当たり前
のことではないのだ。私の授けるこの灯によって、『感謝の心』を思い起こしてほしい。そ
の心が豊かな心を育む。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。
今宵が皆と、この地球の素晴らしい未来のための第一歩であることを願っている。」
- ⑤分火の儀式 「あなたに『健康の灯』を授ける」 「あなたに『自立の灯』を授ける」
「あなたに『感謝の灯』を授ける」 「あなたに『〇〇の灯』を授ける」
「私は健康に気を付け、毎日を元気に過ごします」等
- ⑥点火 「それでは、点火をお願いします。」点火後「皆さん、大きな拍手をお願いします。」
- ⑦歌 「燃え盛る炎を見つめながら、みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」

第2部 交流の集い

- ①出し物 「これから、各グループで考えたスタンプを披露してもらいます。」
- ②踊り 「次に、全員でマイムマイムを踊ります。全員立ってください。」
- ③歌 「最後に全員で〇〇を歌います。全員で元気よく歌いましょう。」

第3部 送火の集い

- ①歌 「最初に、心を落ち着かせて『一日の終わり』を歌いましょう。」
- ②誓いの言葉 「次に、誓いの言葉を発表してもらいます。担当の人は前に出てください。」
- ③火の神の言葉 「皆、楽しめたでしょうか。今日、一人一人が様々な思いを持ったと思う。その思いを忘れ
ず、素晴らしい未来に向けて一步一步歩いてほしいと願っている。」
- ④採火 「それでは、採火を行います。」
- ⑤火の神・子退場 「火の神と火の子が退場します。」※曲
- ⑥終わりの言葉 「これで、キャンプファイアを終わります。」
- ⑦解散 「〇組から、順番に退場していきましょう。」